



命と場所を守る
市政を!

横浜市議員 / 看護師・防災士・博士(心身健康科学)

青葉台小・桐蔭・慶応大

田中 ゆき

討議資料

35

2023,秋



プロフィール

- 青葉区育ち、青葉台小学校
- 桐蔭学園高等学校 / 桐蔭会(理事)
- 慶應義塾大学商学部 / 体育会ボート部
- 人間総合科学大学大学院
- 日本航空CA(客室乗務員)
- 看護師(病院・企業・学校・保育・地域包括)
- 桐蔭横浜大学保健室
- 衆議院議員江田けんじ秘書
- 所属委員会(常任)市民にぎわいスポーツ文化・消防(特別)減災対策推進特別委員会

青葉区育ちの田中ゆきの提言が 青葉区政をより良く!

農業編



緑豊かな青葉区で育った私にとって、子どもの頃から農業が身近にあり、地元の旬の野菜や果物に日頃から慣れ親しみ、農家の皆さんとのふれあいなど、農業と地産地消の大切さを肌身で感じて暮らしています。

食の安全・安心やSDGsの観点、住み続けたいまち青葉区を次世代へ継承するためにも、農業の維持・継承、環境保全が重要と考えます。

これまで、議会において、農業や地産地消について提言してきたことが、令和5年度の青葉区政へと反映されましたので、皆さんに報告いたします。

「地元生産物で生活を豊かに」

<p>1 地産地消とは... 地域で生産されたものをその地域で消費すること</p>	<p>2 地産地消のメリット</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新鮮</td> <td>安心</td> <td>食育</td> <td>交流</td> <td>環境</td> </tr> </table>						新鮮	安心	食育	交流	環境
新鮮	安心	食育	交流	環境							
<p>3 農業分野の課題...</p> <table border="1"> <tr> <td>高齢化</td> <td>後継者不足</td> </tr> <tr> <td>労働力不足</td> <td>IT化への対応</td> </tr> </table>	高齢化	後継者不足	労働力不足	IT化への対応	<p>4 『あおば地産地消マップ』の活用を!</p> <p>地元農産物で生活を豊かに!</p> <p>農業振興を! 地産地消の推進を!</p>						
高齢化	後継者不足										
労働力不足	IT化への対応										

田中ゆきの議会での取り組みが青葉区政へ反映

横浜市 青葉区予算 個性ある区づくり 推進費

区が地域の個性に基づき、特色のある事業を実施

…区の機能強化のための予算

↳ 自主企画事業費

↳ 青葉区における都市農業の展開



提案が
実現!!

農あるまちづくり推進事業

あおば地産地消推進事業費

農を身近に感じる事業

農業振興

2021年12月 本会議一般質問



田中

青葉区の農業が身近にある環境で育った私には、美味しい野菜や果物を育てる、農家の皆さんが魅力的で、ずっと続けて欲しいと思う。しかし、農家の皆さんから「後継者」や「農業継承」の課題を聞くこともある。横浜の大きな魅力、貴重な財産である、農業を守り、維持・推進するには、行政も現場のニーズをさらに丁寧に把握し、支援することが重要。



農業の現場の声を聞く

本市に身近なところにある都市農業は、農業生産の場としてだけでなく、農体験や美しい農景観により市民生活に安らぎと潤いを与えるとともに、防災など多彩な機能を持ち、都市にとって必要不可欠。農家のニーズに即した農業生産基盤の整備や農地の利用促進、農業後継者に対する支援等により引き続きしっかりと農業振興に取り組む。



市長

実現 農あるまちづくり推進事業

新規

都心からの利便性の高い農を青葉区の成長戦略に生かすため、農に関するネットワーク形成に向けた取組を進める。農に関するPRを行い、区民の皆様の関心を高め、農あるまちづくりを推進。

地産地消の推進

2021年12月 本会議一般質問



田中

地産地消が特別なことではなく、身近な直売所などで、地元の農産物を通じて、地域の皆さんが繋がり、暮らしをより豊かにしてくれる、日常の一場面になって欲しいと願う。市民の身近な場所で、農畜産物が生産されている横浜だからこそ、より一層地産地消を進めていくべき。



農を通じたふれあい

市民の皆様が横浜の食と農の豊かさを知っていただき、日々の暮らしの中に地産地消を取り入れていただくことが重要と考える。生産者と消費者の距離が近い本市の特徴を生かし、地産地消を推進することにより、農家の方々と市民の皆様との関係性が一層深まるよう積極的に取り組んでいく。



市長

実現 あおば地産地消推進事業費

拡充

区役所でのマルシェの開催等により、区民の皆様が青葉区の農を身近に感じていただき、地産地消への関心を高める。また、環境創造局とも連携し、地産地消の推進につながる情報発信・PR等を行う。

寺家ふるさと村の運営

2022年10月 決算特別委員会



田中

ふるさと村としての指定から40年近く経過し、地域を取り巻く環境は大きく変化した。ふるさと村では、高齢化、来訪者と地域との調和、観光と・自然の保全のバランスなど、様々な課題が浮き彫りになっている。寺家ふるさと村の原風景を維持・継承してきた地域の皆さんの声に丁寧に耳を傾け、将来のビジョンを描き、維持・継承する取組を推進すべき。



ふるさと村の原風景

高齢化や担い手不足等があり、美しい農景観を守っていくためにも、新たな担い手の確保が大変重要。開村当初からの基本理念である「市民と農とのふれあい」や、「田園景観の保全」などをしっかりと継承し、諸課題にも対応していく視点が今後の検討で重要。引き続き、寺家ふるさと村の将来の姿について地元農業者をはじめ関係者の意見を聞きながら、検討を進めていく。



環境創造局

実現 農を身近に感じる事業

新規

青葉区の魅力のひとつである寺家ふるさと村等で、寺家ふるさと村の活性化に取り組む環境創造局と連携し、ガイドウォーキングを開催し、区民の皆様が横浜の都市農業やふるさと村構想、地産地消など農業に関する情報を知り、考える機会を提供する。

青葉区育ちの市議として、引き続き、青葉区の皆様の声を市政へ反映して参ります！

田中ゆきと行く！横浜市庁舎探訪！

下記の情報を、開催の1か月前までに田中ゆき事務所までご連絡下さい。

- 代表者のお名前
- 開催ご希望日
- 折り返しのご連絡先
- ご参加人数（3名様～）



お申し込みをお待ちしております！



田中ゆき事務所

tanaka.yuki.office@gmail.com

Add

〒227-0061 横浜市青葉区桜台30-18 第2桜台ガーデン2階

Tel/Fax

045-900-0373

